

週間市場レポート

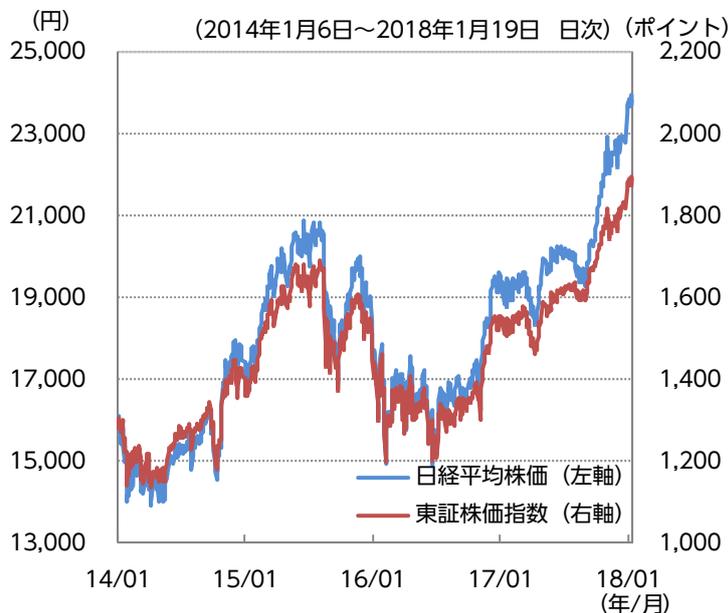
(2018年1月15日～1月19日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。世界的な景気回復期待を背景に週初から続伸し、16日（火）には約26年2カ月ぶりの高値を付けました。週中に海外投資家などの利益確定売りや円高の進行を受けて下落する場面もあったものの、週末は米長期金利の上昇を背景に時価総額の大きい金融株が中心に買われ上昇しました。（週末引け値：23,808.06円）

■ 週間では、日経平均株価は0.65%の上昇、東証株価指数0.72%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。日経平均株価の上昇に伴い、相対的に価格変動が小さい債券は、週を通じて売りが優勢（利回りは上昇）となりました。（週末引け値：0.085%）

■ 週間では、0.007%の上昇となりました。



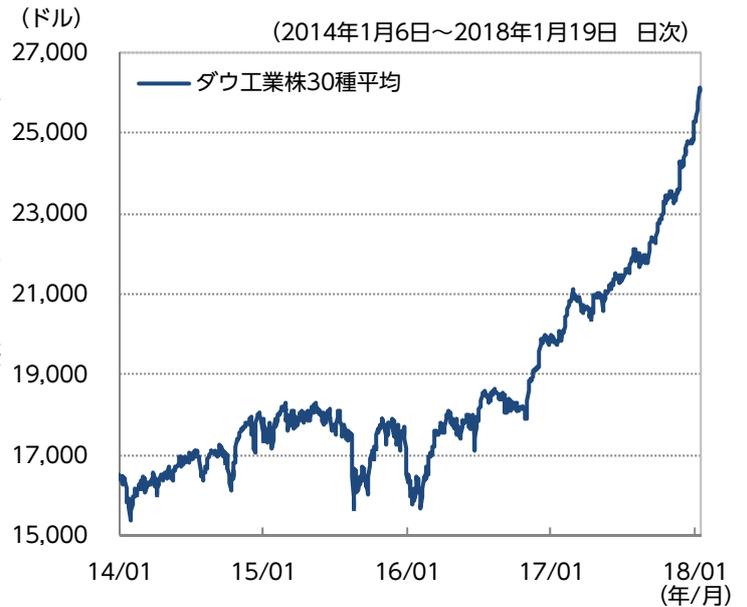
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。企業業績への期待感や原油価格の上昇等を受けて幅広い業種が買われ、17日（水）には史上最高値を更新しました。最高値を更新した反動や、米政府機関閉鎖を懸念する動きから下落する場面もあったものの、週末は米企業業績への期待感から再び上昇しました。（週末引け値：26,071.72ドル）
- 週間ではNYダウは1.04%の上昇となりました。

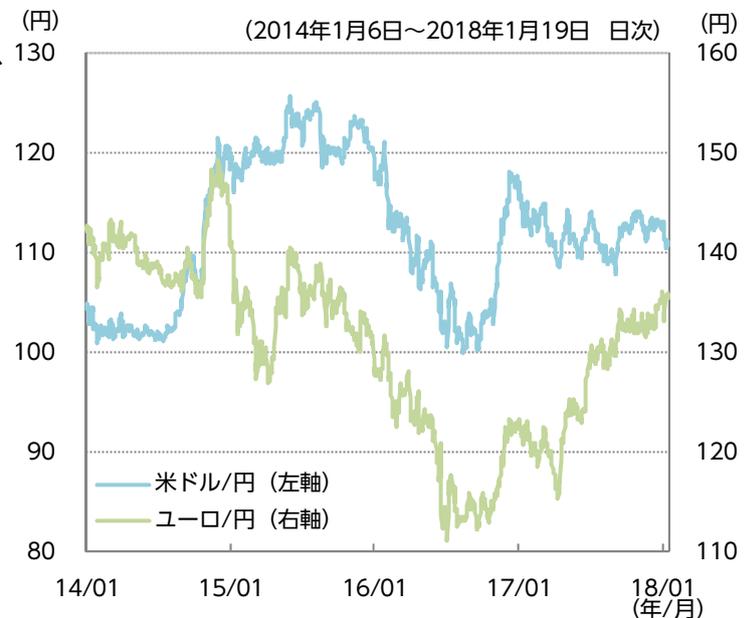


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米ドルが対ユーロで売られたことや、米連邦政府のつなぎ予算の期限切れへの警戒感等から、週を通じて円買い・米ドル売りが優勢となりました。（週末引け値：110円80銭～90銭）
- 週間では米ドル/円は0.26%の円高、ユーロ/円は0.04%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。